

## 子宮頸部円錐切除術における再発予測因子の検討

### 1. 研究の対象

2011 年 1 月から 2021 年 3 月までの間に当院で子宮頸部円錐切除術を実施した患者様

### 2. 研究目的・方法

当院での子宮頸部円錐切除術を受けた患者様の情報を診療録から抽出します。抽出したデータをもとに、再発リスク因子について検討することが本研究の目的です。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 病歴、再発リスクとなりうる因子(腺侵襲の有無、ヒトパピローマウイルスの感染、切除断端陽性、BMI、経産、術者、喫煙等) 等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

研究分担者:

大阪国際がんセンター 婦人科 前田 通秀

住所: 〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話: 06-6945-1181

研究責任者: 婦人科 上浦 祥司

-----以上